

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 8 月 22 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp



【セベランプライ市長とのディスカッションの様子】

セベランプライ市で横浜市の 専門家派遣による現地業務を 実施

横浜市では、JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）として、マレーシア国セベランプライ市における、歴史・自然を活かしたまちづくりプロジェクトを、マレーシア・セベランプライ市、横浜市立大学、マレーシア国立科学大学、横浜セベランプライまちづくり友好委員会、民間専門家及び国際協力機構（JICA）との連携により、平成 27 年 12 月に開始しました。

セベランプライ市ブキマタジャン地区の都市デザインの策定のため、8月初旬に、国際局・都市整備局・横浜市立大学、横浜セベランプライまちづくり友好委員会、民間専門家の派遣による現地業務を実施しました。



（全体ディスカッションの様子）

ベトナム国ダナン市の廃棄物課題 に公民連携で取り組みます！

横浜市と 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）が提案した、ベトナム国ダナン市における「家庭系廃棄物の分別促進モデル事業」が JICA 草の根技術協力事業に採択されました。この事業では、急増するごみ量と廃棄物最終処分場の不足に対応するため、ダナン市内にモデル地区を選定し、市民によるごみの分別により、ごみ量の削減と効果的な収集・運搬を進めます。

市民・事業者・行政の協働のもと、横浜市がこれまで培ってきた、ごみの分別の仕組づくりなどを市職員の現地派遣や、横浜市における研修などを通じて、ダナン市へ提供し、また、廃棄物の収集運搬やリサイクル技術のノウハウをもつ市内企業を講師として現地に派遣することを契機に市内企業による海外ビジネス展開を後押ししていきます。



（ダナン市 廃棄物最終処理場）

防災に関する情報提供につ いてヒアリングを実施しました

横浜市では、市内在住の外国人のための生活情報提供、相談を多言語で実施するとともに、日本語教室の開催、通訳ボランティアの派遣、日本人との交流活動などを行うため、国際交流ラウンジを設置しています。

8月9日に、その1つである「つづきMYプラザ」の協力のもと、防災に関する情報提供について、市内在住の外国人の方にヒアリングを行いました。市内在住の外国人に加え、旅行やビジネスで訪れる外国人が増加する中、外国語での防災情報提供の重要性が高まっています。いただいたご意見を踏まえ、より効果的な情報提供を目指していきます。



（ヒアリングの様子）